

47 動燃(総) 232

昭和47年11月9日

日本原子力産業会議

会長 安川 第五郎 殿

動力炉・核燃料開発事業団

理事長 清 成 迪

原子力施設所在地の地帯整備および税制優遇等
の促進に関する要望について(御依頼)

当事業団業務には、日頃格別の御協力と御支援を賜わり厚く御礼申し上げます。お蔭をもちまして新型動力炉開発プロジェクトも順調に進展しており、大洗工学センターはその大半の建設を終えて諸施設が稼働を続け、その成果を反映させて、高速実験炉「常陽」は大洗に、新型転換炉原型炉「ふけん」は敦賀にそれぞれ建設の最盛期を迎えております。

一方開発の最大目標である高速増殖炉原型炉「もんじゅ」につきましましては、現在建設敷地の取得という重要な段階に当面いたしました。

かねて御高承のように、高速増殖炉は将来炉の本命であり、世界の先進諸国は競つてその自主開発に努力しておりますが、とくに資